

鳥取東高通信

第187号
令和3年12月

編集・発行
鳥取東高等学校PTA
鳥取県立鳥取東高等学校
印刷 日ノ丸印刷株式会社

第72回

東高祭

～あなたと東高、どんな物語がありましたか～

3日目(3年生 夕べのつどい)



東高生に期待すること

副校長 原田 晋一

新型コロナウイルス感染症が流行し始めて2年が経とうとしています。誰もが予想もしていなかったことが起こり、予想もしていない状況が訪れたとき、どのように対応すれば良いのか。未知の課題に直面した場合は不安が強くなりますが、この不安感は2年前とは少し変わっています。1年目はどうすれば良いのか誰もがわからずその中で模索し、決断、実践するしかなかったですが、2年目は1年目の経験を基に対応を考えることができます。最初の一步を踏み出す不安は大きいけれど、踏み出した後、結果が見えてくるのでそれに対する対応をとっていくことが可能となります。

鳥取東高校でも学校行事の縮小や制限がある中で、生徒たちは今自分がしなければならないことは何なのか、制限の中で出来ることは何なのか、ひとつひとつ丁寧に勉強に部活動に学校行事にと模索しながら過ごす高校生活となっています。卒業後の人生は高校生活よりも長くなります。これからも新型コロナウイルス感染症の流行に限らず災害等予想しなかった未知の課題に対して対応を求められる場面はたくさんあるかもしれません。「こんな状況で過ごした高校生活があったからこそ…」と思えるように鳥取東高校で過ごした経験を自信に変え、それを社会で生かしながらいより活躍できる時がくると信じて卒業してほしいと思います。



時代を拓く我が子と共に

PTA副会長 伊藤 憲栄

2020年新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活を大きく変えました。研修旅行や東高祭の学校行事も当たり前ではなくなりました。マスク着用生活は当然のこと、外出や飲食にも制限がかかりました。しかし、この大きな生活の変化も、今後起こるであろう予測不能の変化の一つに過ぎないとも言われています。気候変動、進む情報化と技術開発、資源活用の変化、国際政策の変化等、想像もできない生活が10年後にもやって来ると言われています。

国の政策として「GIGAスクール構想」が打ち出されました。今後の「マストアイテム」と言われるICTが鉛筆やノートと同様、教育現場において不可欠なものとして示されています。小中学校では、個人に1台ずつタブレット端末が整備されました。東高においても、一人一台端末が傍らにある学習が間もなく展開されていくことでしょう。学習環境においても我々保護者が全く経験したことがない時代が来ています。

予測不能の未来を生きていく上で、生徒たちが、社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくことが重要であると言われています。我々保護者も、社会の変化にただ流されるのではなく、自ら主体的に目の前の変化について学び、未来を拓こうとしている我が子と共に、よりよい社会と幸福な人生を創り出すことに努めていきたいものです。

2021.9.1 (wed)
東高祭 1 日目
 in とりぎん文化会館



「2年目の東高祭」

生徒会担当 中村 容

2年目? 来年は開校100周年を迎えるし、今年の東高祭は第72回だったはず…。なぜ2年目なのかというと現在の世の中の状況を見るとわかります。現在、日本ではコロナ感染第5波の中にあります。昨年も東高ではコロナ禍の中、学校行事が多く制限を受け、できる範囲で工夫してやるしかないという状況で、1年間やってきました。今年こそは元通りにできるのではないかと元通りにほらないだろうけど、昨年以上の苦境に立たされている状況です。学校祭直前の盆頃、鳥取県では特別警報が出されていて学校行事は中止が前提、学校も分散登校という状況で学校が始まろうとしていました。学校祭をどうするかを協議する会が益明けに開催されたのですが、なんと、その前日に特別警報が警報になり、分散登校をしなくてもよい状況になり、何とか学校祭準備をできる状況になったのです。初日は梨花ホール。収容人数2000人、本校生徒890名、入場率50%以下をなんとかクリア。合唱、アトラクション・ミュージックファクトリー中止、外部公演は生徒、職員との接触無しで何とかクリア、クラス演技は初日に開催。模擬店中止。一部のPTA役員を除いて非公開。と、このような制限下で開催しました。これらの開催条件だけを見ても通常の学校祭とはいかに違うかということがわかると思います。

初日の梨花ホールでは本校卒業生が所属する東京交響楽団の素晴らしい演奏をじっくり鑑賞し、吹奏楽部、邦楽部、書道部の充実した発表、執行部の工夫されたアトラクションとオープニングムービー、そして午後の生徒全員がかかわって企画されたクラス演技、静寂の瞬間とめいっばいの拍手を送る場面としっかり両立して初日が奇跡的に開催できたのです。それも学校関係者の中に1名でも感染者がでたら即中止、7日間休校という条件付きの中だったのです。

2日目は学校内で1年生の体育館での巨大迷路、2年生の教室でのクリエイション、3年生の第3校舎周辺でのオリジナル企画、文化部展示等ゆったりとした時間設定で開催されました。

3日目は天気と、グラウンドの状態が悪く翌週に延期されましたが、運営上各係になっている運動部、執行部の生徒が普段より早く登校し、準備をしたことで予定していた厳選した競技種目も無事行うことができました。2年続いた非常時の中での学校祭。来年はどうかかわりませんが、ベストを尽くす。ベストが尽きた生徒たちと東高祭です。





2021.9.2 (thu) 東高祭 2日目 in 鳥取東高校 校内



higashigram

higashiko_00

いいね! 890件

#東高祭 #2日目 #今日のイチオシ #コナンを中心に
#見た目は東高生、中身はバリ東高生

私と東高祭、こんな物語がありました。

前期生徒会長 3年7組 山根 歩希

今年の東高祭は、3年生である僕にとっては最後の学校祭でした。コロナウイルスにより、中止の心配もありましたが、なんとか開催するに至り、協力してくださった先生方、関係者の方々、そしてなにより生徒の皆さんには感謝の念が絶えません。

コロナウイルスの影響により、今年は合唱、模擬店や体育祭競技などができない事態となりました。しかし、そんな中でも、みんなで前向きに全力で取り組み、自ら意味を見出して楽しんだおかげで、今年も例年と変わらぬ盛り上がりを見せ、3年生として最後の東高祭を後悔することなく満足いくまで楽しめました。

この先いつコロナが終息するかはわかりませんが、今回の東高祭の盛況具合を見ると、たとえコロナが収まらなくても東高の伝統は脈々と後輩たちに受け継がれてゆくと思います。今年で卒業する身ではありますが、来年、再来年の東高祭がどんな形を見せるか楽しみです。



東高祭を終えて 2年3組 山口 蓮

今年度も昨年度に引き続き、コロナ禍の中で規模を縮小しての東高祭となりました。

密を避ける、歓声をあげないなど、感染対策としての様々な制限がある中で、クラス演技の責任者として、何ができるのか、何をしなくてはならないのか、よく考えることができて自分の中でも大きな経験となりました。途中、みんなの意見を聞こうとしすぎて企画の内容が何度も変わってしまい、スムーズに進行できなかったのも事実ですが、最終的には実際に練習しながら、クラスみんなで意見を出し合い、細かいところを整えていくことが出来ました。また、クラス演技の音源作成など、裏方として企画を支える面白さも感じる事が出来ました。これらを含めて今年度の東高祭は思い出深いものになったと思います。





higashigram

higashiko_00

いいね! 890件

#東高祭 #3日目 #HR対抗リレー

#オッシャー!俺が1番!! #晴天、応援、全てに感謝

学校祭ができた喜び 1年6組 村岡 更紗

初めてで前から楽しみにしていた東高祭。コロナの感染拡大で開催されるか不安だったが、消毒や換気をしたり、体育祭の種目や模擬店も感染対策を考えられたものになっており、無事に開催されて良かった。

梨花ホールで行われたクラス演技や各部活での発表はどれも今までに何度も練習した成果が出ていて、見ている人を魅了した。また、2日目の模擬店や巨大迷路も様々な工夫が施されていて、友達と最後まで楽しむことが出来た。

そんな中で私が最も印象に残っているのは、3日目に行われた体育祭だ。皆が全力で頑張り、全力で楽しんだのでとても盛り上がったからだ。競技をしている側はもちろんだが、見ている側も今できるやり方での応援をすごく頑張っていて良い雰囲気だった。

そしてこの3日間の間で多くの人がクラスの団結力や、仲間と一緒に何かをやり遂げることの楽しさを学んだと思う。私はこの学んだことを今後の学校生活で活かせるように頑張っていきたい。

誰と出会うかで人生はかわる。

